

カラダもココロも健康に

# いきいきらしいふ

no.82  
2024.WINTER

徳大病院だより

特集

## 慢性腎臓病について

### ■CLOSE UP

下肢救済・創傷治療センターについて

### ■徳大病院ニュース

- ・令和5年度総合メディカルゾーン本部合同災害対策訓練を実施
- ・ストレスフリーな外来通院へ！患者支援アプリ「wellcne(ウエルコネ)」が導入されます

### ■tokudai-staff information



# 慢性腎臓病について



■説明は  
徳島大学病院  
腎臓内科 診療科長  
総合腎臓病センター センター長  
脇野 修(わきのしゅう)

■お問い合わせ先  
内科外来  
Tel: 088-633-7118

今回は、新たな国民病と言われることもある慢性腎臓病について、腎臓内科の脇野診療科長にお話を伺いました。

## 慢性腎臓病とは

腎臓は、体の背中側に左右1つずつある縦10cm×横5cm程の臓器です。主に血液をろ過して、余分な水分や老廃物などを尿として排出することで、体液の水分量と質を維持します。その他、ホルモン生成などの役割を担っています(図参照)。

慢性腎臓病は、何らかの原因により、この腎臓の機能が低下し、1分間あたり100mlの尿が作られるところ、60ml以下になったり、尿検査で尿蛋白や尿潜血が検出されたりするなどの異常が3か月続くような状態のことをいいます。ただし腎臓は「沈黙の臓器」と言われ、なかなか症状が現れません。

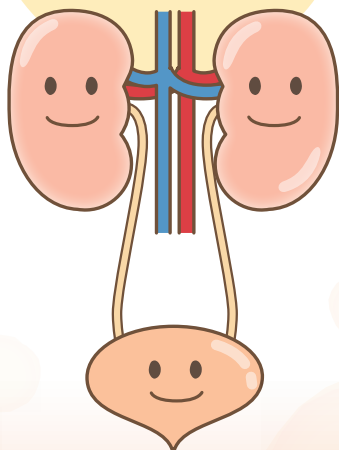
## 患者さんへひとこと

腎臓は「沈黙の臓器」です。健診などの結果をおろそかにしないで、適切な時期に専門的な医療機関で受診をしてください。

既に腎臓病治療をされている患者さんは、食事や生活習慣に気をつけて、できれば腎臓専門の医師に診ていただくとよいと思います。また、透析も昔より技術が向上し、元気に治療ができるようになっています。

## 【腎臓の役割】

- 余分な水分の排出
- 代謝の中で生成される毒素・老廃物の排出
- 電解質(カリウム・ナトリウム・リンなど)の調整
- 酸度の調整(弱アルカリ性に保つ)
- 造血・血圧調整ホルモンの分泌、ビタミンD活性化



むくみや貧血、骨の異常、酸血症などの症状が出てきた時にはすでに末期に近い状態となっています。したがって、慢性腎臓病の早期発見のためには健診や人間ドックでの定期的な尿検査がとても大切です。

## 慢性腎臓病の治療

もし慢性腎臓病になってしまった場合、治療を始めなくてはなりません。慢性腎臓病には治るものと治らないものがあります。腎機能の回復が見込めるものとしては、慢性腎炎や急性腎障害があり、副腎皮質ステロイドや免疫抑制剤を用いて治療します。その一方で、自覚症状がないままゆっくりと進行するような慢性腎臓病は腎機能の完全な回復が見込めません。そのため、それ以上腎機能が低下しないように抑える治療をする

## 徳島大学病院の取り組みと課題

徳島大学病院では、腎臓病に対する取り組みとして、令和4年8月に総合腎臓病センターを設置し、泌尿器科や小児科など腎臓内科以外の診療科ともカンファレンスを通じて連携を図りながら、チーム医療で診療を行っています。

また、徳島県には透析の専門医は人口あたり大変多いのですが、腎臓の専門医は全国の平均以下となっており、特に県南部・西部にはほとんどいないのが現状です。末期の腎臓病治療である透析が必要となる前の診断・治療には、腎臓の専門医を増やす必要があるため、現在は、徳島県とともに県内の腎臓病医療の向上に資するよう、腎臓病の準専門医をつくる認定制度を構想しています。

また、慢性腎臓病になる原因には様々ありますが、生活習慣病(高血圧、脂質異常症、糖尿病、肥満など)がある方はなりやすいので、慢性腎臓病の予防には生活習慣の見直しも大切になってきます。

こととなり、生活習慣の管理(禁煙、減量、血圧管理など)、食事療法や薬剤療法を行います。

また、末期の腎臓病になってしまった場合は、失ってしまった腎機能の代わりとなるような治療が必要です。血液透析・腹膜透析や腎移植が選択肢となります。透析といえば、悪いイメージを持たれがちですが、以前より透析患者のQOL(生活の質)は保たれるようになっています。

## じんぞうびょう教室のお知らせ

まんせいじんぞうびょう シーケーティー  
～慢性腎臓病(CKD)ってなに～

回数: 全3回

時間: 14:30~16:30

場所: 徳島大学病院外来診療棟5階  
日亜ホール white 大

1回目 2024年2月7日(水)  
慢性腎臓病について

薬物療法  
療養生活について

2回目 2024年2月16日(金)  
食事療法  
運動療法

3回目 2024年2月29日(木)  
腎代替療法について

血液透析  
腹膜透析  
腎臓移植  
治療選択支援

受講料  
無料

2月に  
じんぞうびょう教室  
を開催します。  
ご興味のある方は  
本院内科外来に  
お声掛けください

CLOSE UP!



■説明は  
徳島大学病院  
下肢救済・創傷治療センター  
副センター長  
**山下 雄太郎**  
(やました ゆうたろう)  
■お問い合わせ先  
形成外科・美容外科外来  
Tel: 088-633-7047

## 下肢救済・創傷治療センター について

糖尿病などの病気では、合併症として足の病気になることがあります。それは時として下肢の切断にも繋がりがねないものです。徳島大学病院ではこのような下肢切断を最小限に抑えようと、令和4年8月に下肢救済・創傷治療センターを設置しました。今回は、下肢救済・創傷治療センターの取り組みについて紹介します。

### 難治性潰瘍と下肢救済・創傷治療センター

徳島県に患者さんが多い糖尿病では、靴擦れや足の变形、足への細菌の感染など様々な足のトラブルが生じることがあります。これは糖尿病を原因とする血管障害や神経障害、免疫低下によって生じます。傷・火傷などの異変があっても痛みに気づきにくく、また治りにくいため放置すると、難治性潰瘍(治りにくい慢性的な傷)から壊死性筋膜炎(壊死した部分が細菌感染などにより悪化したもの)、虚血による壊疽(血流が悪くなり組織が死んでしまうこと)など重大な状態に陥り、最悪の場合、足の切断という選択をしなければならないこともあります。

また、糖尿病を原因とするもの以外にも、膠原病や、動脈硬化症、褥瘡、放射線照射などによる難治性潰瘍があります。そのため、原因や治療法などによって様々な診療科・部署が関わる必要があり、本院では下肢救済・創傷治療センターがその指揮をとって治療をしています。単一科では難しい治療も総合病院の強みを生かし、できる限り下肢切断をしないよう、また切断が必要である場合にはそれが最小限のものとなるよう努めています。

本センターでは月に1回、多職種でカンファレンスを実施し、治療についての情報共有や相談、協議を行い、院内の連携強化を図っています。そうすることにより、本セン



### 患者さんへひとこと

難治性潰瘍は1か月以上治らないもののことを言います。

下肢救済・創傷治療センターでは、褥瘡などの足以外の難治性潰瘍も診療しています。

小さい傷でも異変を感じた場合はお早めにご相談いただければと思います。

(図) 下肢救済・創傷治療センターの構成

#### 【下肢救済・創傷治療センター】

形成外科	⇒ 創傷治療、血行再建、免荷手術
心臓血管外科、循環器内科	⇒ 血行再建、心臓疾患治療
内分泌・代謝内科	⇒ 血糖コントロール
腎臓内科	⇒ 透析、LDLアフェレーシス※
リハビリテーション部	⇒ リハビリテーション
整形外科	⇒ 足変形手術、リウマチ治療
栄養部	⇒ 栄養管理
看護師、褥瘡対策室	⇒ フットケア、褥瘡予防、看護

ター設立以前より難治性潰瘍の治療が迅速に行えるようになりました。

本院での治療の流れとしては、患者さんにはまず形成外科の外来を受診いただき、原因の特定と、足の状態が悪くならないように処置・管理を行います。多くの場合、靴に問題があり、足の状態を悪くしているため、靴の装具作成なども行います。一方、他の診療科での血行再建や血糖コントロールなど患者さんに必要な治療に繋がっていきます。(図参照)。

### 今後の課題

現在本センターでは、1月あたり新規の患者さんは10名前後、経過観察している患者さんは30～40名程度来院されており、以前よりご紹介いただくようになりました。症状が重症に至る前の患者さんを診察することも少しずつですが増えてきています。しかし、今後増えていくであろう患者さんに対応するためには、重症化する前になるべく早く治療を開始する必要があります。今後も本センターの取り組みについて引き続き周知を図っていきたいと思います。



カンファレンスの様子

東証プライム 上場企業 入院セット専門業者で唯一、東証プライム市場上場

全国 2005以上の施設さまに導入

入院生活に必要な物を 日額定額制でレンタル

衣類 など タオルや紙おむつ 入院に必要な物

株式会社エラン ☎ 0263-29-2680 (9:00-17:00) ✉ request@kkelan.com

西病棟 11階 特別個室

春の桜。夏の深緑。秋の紅葉。山眠る冬。絶景を臨む特別な空間。

特別個室に入室をご希望の方は担当医にご相談ください。

## 徳大病院ニュース 徳島大学病院の最新情報をお届けします

TOKUDAI BYOUIN NEWS

### 令和5年度総合メディカルゾーン本部合同災害対策訓練を実施しました

徳島大学病院が災害拠点病院として大規模災害発生時に本院で患者を受け入れるにあたり、災害対策本部や患者受入体制等が十分機能するかどうかを確認するため、隣接する徳島県立中央病院と合同で、令和5年9月30日(土)に災害対策訓練を実施しました。

今回の訓練は、昨年度に引き続き机上訓練としましたが、巨大地震による負傷者が多数本院に搬送されるという想定のもと、香美病院長を本部長とする災害対策本部を立ち上げ、トリアージセンターでの症状別患者振り分け、入院調整などを実施しました。また、県立中央病院とは患者搬送に係る連絡調整訓練も行いました。

参加した本院スタッフは訓練に真剣に向き合い、現状の課題等の検証を行うことで、実際に災害が発生した際に即対応できるよう、日頃から災害を意識した体制を整えていくことの重要性を再確認しました。



訓練の様子

### ストレスフリーな外来通院へ！患者支援アプリ「wellcne」が導入されます

(ウエルコネ)

徳島大学病院では、長年の課題である“外来待ち時間の長さ”に対応すべく、患者支援アプリ「wellcne (ウエルコネ)」の導入を決定し、令和6年2月稼働に向けて準備を進めています。アプリの主な機能は「診察順案内機能」と「会計後払い機能」。患者さんのスマホにアプリをダウンロードいただくことで“診察順が近づいた”ことをアプリでお知らせできるようになり、診察待ち時間の有効活用が期待されます。また、クレジットカードの登録により、会計を待たずに帰宅することも可能となります。詳しくは2月以降に、院内のサポートブースにお立ち寄りの上ご相談ください。



#### 市民公開講座等のご案内

徳島大学病院フォーラム2024春

「ゲノム情報を活用して健康で長生き」と「がん～ここまできた最新治療～」

【日時】令和6年3月3日(日) 13:00～15:50

【場所】徳島大学大塚講堂 【参加費】無料(聴講券が必要)

【問い合わせ】徳島新聞社営業企画部 TEL: 088-655-7313 (平日9:30～17:30)

tokudai-staff information

## 新任のごあいさつ



泌尿器科長

古川 順也

(ふるかわ じゅんや)

令和5年11月1日付けで泌尿器科診療科長に着任いたしました。私はこれまで泌尿器癌治療と、最先端のロボット支援手術に取り組んでまいりました。未来の泌尿器科医療を支える人間性豊かな医師の育成を目標とし、幅広い泌尿器科領域において先進的な医療技術の提供と心のこもった診療に努め、徳島県の泌尿器科医療の拠点として地域医療への貢献に尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



治験を実施しています

現在、開発中の医薬品の候補(治験薬)あるいは医療機器を用いた治験を、以下の病気を対象に実施しています。参加いただいた患者さんにおけるデータを集め、有効性や安全性を確認して医薬品や医療機器としての「承認」を得ることが治験の目的ですが、参加いただいた患者さんにとって良い効果をもたらす場合もあります。まずは、よく情報を得ていただきたいと思っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

- 肺がん
- 腎細胞がん
- 肝細胞がん
- 筋層浸潤性膀胱がん
- 乳がん
- 食道がん
- 尿路上皮がん
- 多発性骨髄腫
- 筋萎縮性側索硬化症
- 急性冠症候群
- 心性浮腫(うっ血性心不全)
- 小児2型糖尿病
- 統合失調症
- 間質性膀胱炎
- ALアミロイドーシス
- 金属パネルアレルギー

ご協力をお願いします。



問合せ: 総合臨床研究センター  
tel.088-633-9294

## 総合案内ボランティア大募集

- 病院玄関での受診手続きの補助
- 車いすの患者さんの介助、搬送

■お問い合わせ: 徳島大学病院総務課 TEL: 088-633-7463



## 各相談等の連絡先

- 患者支援センター  
[総合相談、難病・てんかん・高次脳機能障害相談]  
Tel / 088-633-9107 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- がん相談  
Tel / 088-633-9438 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- 緩和ケア相談  
Tel / 088-633-7457 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- 肝疾患相談  
Tel / 088-633-9002 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- 脳卒中・心臓病等に関するご相談  
Tel / 088-618-0171 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- 遺伝カウンセリング  
Tel / 088-633-9218 (9:00 ~ 17:00 (休診日除く))
- セカンドオピニオン  
Tel / 088-633-9654 (9:00 ~ 17:00 (休診日除く))
- 総合臨床研究センター [治験]  
Tel / 088-633-9294 (9:00 ~ 17:00 (休診日除く))

## 徳島大学病院へのご寄付

本院では、一層充実した医療を提供するために、寄付金というかたちで皆様のご厚志を生かしていきたいと考えています。皆様のご支援は、①病院設備・サービスの充実②診療環境の充実③医療スタッフの育成④地域医療への貢献のために充てさせていただきます。ご寄付をいただき心から感謝いたします。

- 寄付者のご芳名 ご同意していただいた方に限り、ここにご芳名を掲載させていただきます。  
※2023/8/1 ~ 2023/10/31時点 (順不同)  
中野 二三人様 株式会社四国建工様 株式会社コール・ミー様
- お申し込み状況 総件数：15件 総額：1,700,000円 ※2023/4/1 ~ 2023/10/31時点
- お申し込み方法 徳島大学病院のホームページでご覧いただけます。  
来院中のお申し込みは、経理調達課経理・管理係または、お近くの当院スタッフまでお申し出ください。
- お問い合わせ 経理調達課経理・管理係 (月～金8:30 ~ 17:00) Tel / 088-633-7016

歩きスマホは大変危険ですので  
ご遠慮下さい。



 **徳島大学病院**  
Tokushima University Hospital

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1  
<https://www.tokushima-hosp.jp/>

■ご意見・ご要望は右記までお寄せ下さい。bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp

発行者  
編集部会長  
広報委員会  
委員

病院長 香美 祥二  
石澤 啓介  
湯本 浩通 原田 雅史 滝沢 宏光 板東 美香  
藤井 志朗 久保 亜貴子 大川 敏永 桐野 靖  
武川 香織 横田 三樹 原田 直樹 金子 由起  
榎本 清美 吉平 祐子 藤原 慶一 田木 真和  
総務課広報・企画係 Tel.088-633-7697

事務担当